

第 28 回 BC 州日本語弁論大会
2016 年 3 月 5 日 (土)
優秀作品集

BC 州日本語弁論大会実行委員会

この作品集は、参加者の原稿を元に BC 州日本語弁論大会実行委員会が編集したものである。

第 28 回 B C 州 日本語 弁論大会

日時：2016 年 3 月 5 日 土曜日 午前 10 時 00 分

場所：Simon Fraser University

コーディネーター：Noriko Omae (SFU/サイモンフレーザー大学)

Rebecca Chau (UBC/ブリティッシュコロンビア大学)

Ihhwa Kim (UBC/ブリティッシュコロンビア大学)

司会者：Jacky Lee and Yumi Yanagisawa

審査員：Tomoko Bailey (JALTA)

Allison Ogawa (Sentinel Secondary)

Seiko Roberts (Kwantlen Polytechnic University)

Yasuyo Sawada (Kiyukai)

Akemi Takizawa (Killarney Secondary)

Catherine Yamamoto (Riverside Secondary)

Shiho Minami (Douglas College)

Joshua Mostow (UBC)

Sumiko Nishizawa (Kwantlen Polytechnic University)

Toru Thomas Sano (Mitsui & Co. (Canada) Ltd.)

Michiko Suzuki (UBC)

Masahide Tada (Konwakai)

Akira Uchida (Consulate General of Japan in Vancouver)

出場者：

【高校 初級】

- | | | |
|--------------------------|-----------------|-------------------|
| 1. Faith Alandi | 恥ずかしがり屋 | Being Shy |
| 2. Pin Xuan (Jacey) Chen | 幸せについて | About Happiness |
| 3. Estel Kim | みちばたでみつけたわたしのゆめ | Road to My Dream |
| 4. Erin Lee | 引きこもり | Hikikomori |
| 5. Jeff Wen | カナダの人生 | Canada |
| 6. Hefan Zhang | 白い縁起 | The White Destiny |

【高校 中級】

- | | | |
|------------------|-----------|--|
| 1. Wu Jih Hsu | 僕は諦めません | I will Never Give UP |
| 2. Patrick Kao | 演奏者より聞き手に | Instead of a Performer, Be a Listener |
| 3. Alice Yin | おはよう日本語 | Ohayou Nihongo |
| 4. Caitlin Zhang | 吹奏楽の背景役 | The Background Character in Concert Band |

【高校 オープン】

- | | | |
|----------------|------------------|----------------------------------|
| 1. Rio Akiyama | 「誠」にふさわしく | To Truly Be Deserving |
| 2. Alisa Blanc | 先輩の言うことはいつも正しいのか | Are School Seniors Always Right? |
| 3. Yirun Wu | 冬過ぎて | After Winter |
| 4. Chris Zhu | 生きる前に死なないで | Live Before You Die |

【大学・一般 初級】

- | | | |
|-----------------------|-------------|----------------------------|
| 1. Joanna Conde | サードカルチャーキッズ | Third Culture Kids |
| 2. Seungyoung Jung | 隠密文化 | Culture Incognito |
| 3. Gene (HyunWoo) Kim | 心に響く音 | A Poignant Sound Inside me |
| 4. An Na Li | 好きな日本の歌 | Favorite Japanese Songs |
| 5. Lenna Losonczi | 日本語が開た扉 | Through Japanese Language |
| 6. Seung Taek Oh | 二十歳 | Twenty |
| 7. Danaya Rankin | 心からの学び | Learn from the Heart |
| 8. Hana Shin | パチリス | Pachirisu |

【大学・一般 中級】

- | | | |
|---------------------|------------|-------------------------------|
| 1. Yenting Tim Chen | 旅行のすすめ | Travel Recommendation |
| 2. Kevin Chou | 好奇心は猫を殺さない | Curiosity Didn't Kill the Cat |
| 3. Christopher Goeb | 五円とご縁 | 5 Yen and Go-en |
| 4. Alfred Ko | 宇宙人の専攻？ | A Major for Aliens? |
| 5. Emily Lam | 日本人ってどんな人？ | Who are Japanese People? |
| 6. Thomas Pride | 人生のナビゲート | Navigator of Life |
| 7. Kim Tran | ゆめをあきらめない | Do Not Give Up on Your Dreams |

【大学・一般 上級】

- | | | |
|----------------------------|--------------|-------------------------------------|
| 1. Carmela de Torres | 性役割を考え直しましょう | Let's Rethink Gender Roles |
| 2. Jerry Fang | 心の平和は世界を変える | The Peace of Mind Changes the World |
| 3. Lily Guo | 「ノー」と言える外国人 | The Foreigner that Can Say No |
| 4. Jingjun (Lorelei) Jiang | 美しさの負担 | The Burden Behind Beauty |
| 5. Eva Qiu | 古き美德 | Old Virtue |
| 6. Jeremy Sit | ガラパゴスの景色は美しい | The Glorious Scenery of Galapagos |
| 7. Joseph Watson-MacKay | 国際的な家族 | International Family |

【大学・一般 オープン】

1. Tsuyoshi Hamanaka 剣道への感謝、再出発
2. Jaehyun Shim 大丈夫？大丈夫だよ
3. Olga Tarasenko 何も忘れていません

The Appreciation of Kendo, Restart
Daijyobu? Daijyobudayo
Nothing is Forgotten

入賞者

【高校部門】

初級部門	第1位	Erin Lee	引きこもり
	第2位	Pin Xuan (Jacey) Chen	幸せについて
	第3位	Estel Kim	みちばたでみつけたわたしのゆめ
中級	第1位	Alice Yin	おはよう日本語
	第2位	Patrick Kao	演奏者より聞き手に
	第3位	Caitlin Zhang	吹奏楽の背景役
オープン	第1位	Chris Zhu	生きる前に死なないで
	第2位	Yirun Wu	冬過ぎて
	第3位	Alisa Blanc	先輩の言うことはいつも正しいのか

【大学・一般部門】

初級	第1位	Seung Taek Oh	二十歳
	第2位	Hanah Shin	パチリス
	第3位	Joanna Conde	サードカルチャーキッズ
	特別賞	Lenna Losoncz	日本語が開いた扉
中級	第1位	Christopher Goeb	五円とご縁
	第2位	Alfred Ko	宇宙人の専攻？
	第3位	Emily Lam	日本人ってどんな人？
	特別賞	Jingjun (Lorelei) Jiang	美しさの負担
上級	第1位	Jeremy Sit	ガラパゴスの景色は美しい
	第3位	Lily Guo	「ノー」と言える外国人
	第3位	Eva Qiu	古き美德
オープン	第1位	Tsuyoshi Hamanaka	剣道への感謝、再出発
	第2位	Jaehyun Shim	大丈夫？大丈夫だよ
	第3位	Olga Tarasenko	何も忘れていません

引きこもり

みなさん、「引きこもり」という言葉はごぞんじですか。最近増えている現象です。 外の世界との連絡がほぼなく、家で6ヶ月以上引きこもる方たちを「引きこもり」とよびます。その方たちはふつうに受験に失敗したとか勤めることができなかつた中高年です。この社会問題の原因と解決方法について今日話したいとおもいます。

それでは、今の日本がどのような状態に陥っているのか調べて見ました。5年前の政府の調査結果によると、約 236000人の日本人が引きこもりという判断基準を満たしているとのことでした。日本の 就業人口は236000人に満たないとのことです。引きこもりになった理由を聞いてみたけれども、大半は自分自身も理由をしらなさそうでした。他は性格や失業や登校拒否や家庭環境などが理由だと答えました。10だと20だの引きこもりたちでは 登校拒否が一番 ありふれた返事で30だと40だでは失業が もっとも共通した返答でした。

このことに興味を持った私は、実際どのような状況が原因で引きこもりになるのかを調べていたら、おもしろい記事を見つけました。3人の息子のお母さんのお話でした。上の息子たちは大学を卒業して会社につめることができましたが、3人めのむすこは受験にしばいたせいで大学へ行くことができませんでした。自分のことをクズだといって部屋に引きこもってしまいました。誰にも声をかけず、苛立つあまりに家具も壊してしまいました。とうとう両親が部屋から彼を 引き出すことができ3人で話し合いました。両親は息子の夢について息子と真剣に話し合えたので、家庭が元通りになったらしいです。この話のおかげで引きこもってしまった方たちも誰かにサポートしてもらったら社会に復帰することができるかもしれないと 気付きました。私 は引きこもり現象は大変な社会問題だと思いますが、回避できない問題ではありません。もちろん失業と不登校は簡単に解決できる問題ではありませんが、まず人に相談したほうが良いと思います。

幸せについて

皆さん、こんにちは。

幸せについて皆さんと考えてみたいと思います。

人によって、幸せはそれぞれ違うと思います。皆さんにとって幸せとは何ですか。今の私にとって幸せとは、物がある幸せではなく、心と頭脳の強さです。今の沢山の若者はお金や洋服を欲しがっています。でも、私はそうとは思いません。物ではなく、心の豊かさや知識が豊富な事が大切だと思います。今、私は高校一年生です。今の私には、やるべき事が沢山あります。例えば、毎日勉強すること。私は今頑張れば、将来、沢山のことができるようになります。

私の夢は良い大学に行って、将来日本の会社に勤める事です。良い大学に行って沢山勉強すれば、社会人になった時に沢山の選択肢があるからです。それが幸せに繋がっていくと思います。そして、自分の心をもっと強くしたいです。心の強さは、辛い時や悲しい時でも我慢できて、大きな心で他人に優しくできる事です。私は、周りの人にも、もっと優しくしたいです。

私にとって、他の人の笑顔も幸せです。また、愛している家族が側にいる事も幸せです。私の家族は両親と妹です。皆健康で元気に毎日楽しく暮らしています。でも、5年前に中国からカナダに来た時、私はまだ英語ができなくて、友達がいませんでした。一人ぼっちでとても悲しかった思い出があります。でも、高校に入った時に新しい友達ができました。今は一つの思い出だと思えるようになりました。その時はとても悲しかったけれど、悲しみの後には、必ず幸せがやってくると思います。

幸せとは物やお金に満たされる事ではなく、健康でいられる事と、心が豊かで広い気持ちでいられる事だと思います。皆さんは今幸せですか。

ご静聴ありがとうございました。

みちばたでみつけたわたしのゆめ

雨がふる 2005 年の夏、私はみちばたでゆめを見つけた。私のゆめはすてられた古いダンボールの中にあつた。かなしい目で愛をもとめないういっぴきのプードルだつた。おさないわたしは、なんのまよもなくそのかわいそうな子犬をだき、家にもち帰つた。このちいさないのち、 ジューシーにきぼうをあたえようとしたわたしがこの子犬にかえつて、 きぼうをもらひゆめをもつことになるとはおもひもしなかつた。子犬をそだてることは一つのいのちにせきにんをもつことだ。

私はまだおさなかつたのでジューシーをそだてることはむずかしかつた。長いあいだみすてられていたのでジューシーのからだはよわく救急びょういんに連れて行くこともおおかつた。それでも、じょじょにジューシーは、家族のいちいんになり、人生をいっしょにあゆむ、私のかげがえのないそんざいとなつた。

ジューシーとともに私もせいちょうした。よい日もわるい日もあつた。 友だちとのわかれ、そふのし、何かがおきたときいつも、私のそばにはジューシーがあつた。つかれきつて家に かえり、 ドアをあけたしゅんかんしっぽをふりながら私をかんげいしてくれた。ジューシーのそんざいはますます私のじんせいで多きはげみとなり、さみしさをかんじにせいちょうすることができた。

しかしジューシーは私のそばに、そのままずっとはいなかつた。エネルギーあふれ、私のまわりをぐるぐるまわつていた子犬が一日一日年をとつていつた。だんだんまどのそとをながめて日光のしたでねむつてゐるじかんもおおくなつた。私もますますいそがしくなつてゐた。そして 2013 年のあるふゆ、ジューシーは私のそばからさつた。ちいさなベッドでえみをうかべたままねむつた。

ジューシーは私がこころあたたかい人間にせいちょうできるようにみまもつてくれた。ジューシーが私にあたえてくれたゆめは、じゅういになるゆめだつた。あいするやぞくのびょうきをちりょうしふたたびかぞくのもとにかえす仕事があつたとおもつた。そのため獣医学があつたつしてゐる日本へいきじゅういがくまなびじゅういしになりたい。ジューシーがいなかつたらいまごろ私はゆめにむかつていっしょうけんめいべんきょうにはげんでいただろうか。私はジューシーから大きなおくりものをもらつた。そのおくりものをこころにだいて、私はきょうもゆめにむかつてジューシーとはする。

おはよう日本語

みなさん、「おはよう日本語」を知っていますか？「おはよう日本語」は上海で初めての子供向けの日本語学校です。開校から閉校まで、たった 5 年しかなかった幻の学校です。

2007 年「おはよう日本語」は、検定試験や成績向上のためではなく、漫画やゲームで、遊びながら楽しく日本語を学ぶというやり方で始まりました。親から無理やり日本語を勉強させられた私でしたが、「おはよう日本語」のおかげで、日本語だけでなく、日本や日本人に対する興味を持つようになりました。そしていつの間にか、日本のファンになっていました。

2012 年、尖閣諸島問題で日中関係が更に悪化し、大規模な反日デモが起こりました。そして、多くの企業が上海から撤退し始めました。私が大好きだった「おはよう日本語」もその中の一つでした。学生数がどんどん減り、ついに 2012 年の年末、閉校に追い込まれたのです。

「おはよう日本語」の最後の授業のことは、今でも忘れられません。その日は、スピーチの発表会をしました。校長先生と担任の横山先生も、この 5 年間の学校生活を振り返り、別れのスピーチを発表してくださいました。先生も生徒もみんなでぼろぼろ泣きました。

どうしてこんなに楽しい学校が閉校になってしまうのだろう。どうして日本語の勉強が続けられないのだろう。当時は幼かったので政治のことがあまりわかりませんでした。高校 3 年生の今でも、実はよくわかりません。でも一つだけ私が確信していることがあります。それは、その国の言葉を勉強すれば、その国のことがわかるようになり、その国の良さもわかってくるということです。

今、カナダという多民族社会で生活する中で、人はバックグラウンドが違ってても、理解し合いながらよい付き合いができるということを身を以て知りました。日本と中国にもできるはずです。言葉を学ぶことで、理解不足や誤解が少しでも和らぐのではないのでしょうか。同じように、中国語を勉強して、本当の中国を理解してくれる日本人が増えると嬉しいです。反日よりも親日。反中よりも親中の方が、いい響きに聞こえませんか？ これから私は、日中の架け橋となり、そういう素敵な言葉をもっと伝えていきたいと思えます。そして、私を日本ファンにしてくれた「おはよう日本語」のような学校がもっともっと増えることを願っています。

演奏者より聞き手に

僕は小学生のころ自分勝手に相手の気持ちなどおかまいなしに友人をよくいじめたものです。 やんちゃな友達と一緒に、ほかの子のズボンを無理やり脱がせたり、耳が不自由な女の子に大きな声で怒鳴ったりして、いつも叱られていました。

高校に入ってから、兄の影響や同い年のピアノのうまいハワードに出会って、ジャズに興味を持ち、SOULAR というジャズコンボに入りました。一緒に演奏したいけど、最初の演奏で、僕が全く未熟だと気づきました。

まず、僕の性格です。ジャズでは、一人一人が独自の弾き方を持っているから、他のミュージシャンと一緒に演奏する時は、コミュニケーションが何より大切です。ステージの上で、好き勝手なことをすれば、演奏は台無しになるでしょう。ちゃんと演奏したいならば、バンドの一人一人が他のメンバーの奏でる音楽をよく聞くのが、何よりも大切なことです。

観客は、僕、一人を見るのではなく、バンド全体を見るのです。だから、バンドとしてよりよい演奏をするためには、お互いに助け合うことが重要です。一緒に演奏をして行く中で、「何かが足りないな。」と思えば、それに応えるようになりました。すこしずつでいいから、大事なのはいい音楽を作ることだと理解してきたのです。

このこと、音楽にとって聴くことは考えることだと、きっかけに 僕自身が他人との関係を考え直すようになりました。特に、僕が何故、人をいじめるのかをじっくり考えました。僕は何も考えず、人を傷つけていました。もっと深く相手のことをみていたら、ちゃんと耳を傾けていたら、友達ともっといい関係が築けたと思います。次第に僕の周りの大切な人が見えるようになりました。少しずつ変わってきた僕は、バンドの一員としても、みんなと一緒に演奏できるようになりました。

それなので、僕たちのジャズコンボは、老人ホームで演奏し、バンクーバーの高校ジャズ祭りの奨学金をよっつも もらってきました。僕たちはそんなに名手ではありませんが、演奏者より、聞き手になっていただけでした。

音楽にかかわる姿勢が変化してきたのです。一人の演奏がどんなにうまくても、いいバンドになりません。一人一人がやるべきことをしながらも、お互いをよく聞き 尊重 し合い一緒にジャズをつくるのです。それが観客を魅了することになると思います。ひょっとする 世界の国々もこの聞き上手になることで平和への道が開けるのではないかと考えます。

吹奏楽の背景役

楽器をやっている人に私は音楽をやっているというと、「ぜひ、聞かせて欲しい。」と言われることがあるかもしれません。しかし、私のようなトロンボーン奏者にそんなことを言ってくれる人はいません。トロンボーン奏者はいつだってステージの端のスポットライトの光が届かないところで演奏しなくてはなりません。「こんなのは不公平だ」いつも、そう思っていました。そして、スポットライトを浴びるトランペット奏者を睨まずにはいられません。こんなことを言っても、所詮はちっぽけなトロンボーン奏者の独り言と思われて相手にされないかもしれません。でも、これはたしかに私の心の叫びでした。

私はこのとき心に誓っていました。「いつか、ホルンやフルートよりももっと輝いて、もっとたくさんの観客に見てもらえるようなトロンボーン奏者になろう。そして、この思いを音に乗せて、それを観客に届けてトロンボーンの価値を認めてもらおう」、と。しかし、実際はそう上手くいきませんでした。私がどう頑張ってもいつもメロディーはトランペットやフルートにしか配られませんでした。低音パートのトロンボーンが出られる場所はなかったのです。

私のパートが数秒しかないときの演奏会は悔しくてたまりませんでした。そしてメロディーを上手に演奏できるスポットライトの中の彼らの失敗を願ってしまう自分が嫌いでした。私は自分でトロンボーンの価値を完全に否定していました。たしかにトロンボーンはメロディーをトランペットのように、きれいに吹けません。でも知っている人はちゃんとトロンボーンの良さをわかっています。温和な音で、たとえ目立たなくても、みんなを支える力、それこそがトロンボーンの良さなのです。

吹奏楽部を演劇にたとえるなら、トランペットやフルートを含むソプラノパートが一番、輝く主人公で、アルトサクソフーンやホルンはスターの敵役でしょう。でも、トロンボーンは、ただの舞台の背景です。そこにいるのに観客に見ることのできない存在です。しかし、そんな私でも主役や敵役の土台なのです。彼らが戦うと一番おもしろい場所を作るのは結局、私なのです。

低音パートの出る場所はないと私は自分で否定して、自分で自分の役目を殺していました。たとえ主人公のように輝けなくて、数秒間だけのスポットライトでも、自分の役目を果たせば、心を強く持って悔しさを感じずに演奏できたはずなのです。誰も価値を認めていなくても、そしてメロディーをきれいに吹けなくても、私が重要な役目を果たしている、それだけで十分だったのです。もしも、みなさんが吹奏楽の演奏会に行くことがありましたら、このトロンボーン奏者の言ったことを忘れず、背景役の低音パートの頑張りを暖かく見守ってください。

生きる前に死なないで

四十秒。世界で四十秒に一人が、自分の命を断っていると、国連の資料が言っています。アメリカのホワイトハウスの調査によると、毎年四万人が自殺し、それは自然災害や戦争の犠牲者よりも多いそうです。それよりも驚くのは、毎年、百万人が自殺しようとしていることです。

去年の夏、僕もその中の一人でした。家の問題に向き合いたくなくて、逃げ道は橋の上から跳ぶしかないと思いつめました。幸いにも、友達にメールをして、絶望から救われました。その後、時間の経過と共に、結局死にたいわけではなくて、ただ生きることが辛かったのだ。誰かに辛い気持ちをわかって欲しかったただ、話したかったただということに気がきました。

僕のように、自殺したい若者の八割は、痛みを誰かに知らせたいだけのようです。とっさの判断で自殺する人はあまりいません。高校生には、両親から優秀な大学に行くよう期待されることも、友達との喧嘩も、学校からの圧力も、珍しくありません。まだ広い視野に立てないから、様々な悩みが積み重なって、相談する相手もなくて、追い込まれていき、自殺という考えが起きるのです。僕も、幼い時から両親の価値観を押し付けられて、僕の個性を認められず、自分の悩みだからと他の人にも話せませんでした。そして、自分が無力だと思い込んでしまったのです。

自殺についてさらに考えるようになりました。目の前の悩みは一時的なものですが、自殺したら命はもう二度と取り戻せません。パニックに陥った僕はその時何も考えられなかったが、冷静になった僕は、自殺は問題の解決どころか、逃げるだけだと思いました。理性的に悩みに向かい合えば、自殺の衝動が抑えられます。学校の後輩が首を切りたいと言ったと聞いて、すぐ「いのちの電話」に電話をして、助けを求めました。インターネットで調べていくと、なんと驚くべきことに、15歳から25歳のカナダ人四分の一の死因が自殺だと知った時、僕にもできないことがないか、何かしなければと切実に思いました。僕は自殺ライフラインのボランティア組織に参加して、十代の自殺願望者と話し合っ、少し落ち着かせ、自殺のリスクを考えさせました。僕が今できることは話を聴くだけですが、それも大事だと思います。

一般的に自殺した九割の人は精神疾患で、薬物と精神療法で治せるそうです。その人達を助けたいなら、専門の医療サービスが要ります。若者には、苦しみから逃げるために、麻薬を使う人もいます。でも、麻薬を使っても、なにも解決できません。大事なものは、自分はひとりぼっちじゃないと気づかせることです。僕は今後、自殺問題を様々な角度から分析、理解し、個々への適切なサポートができるようになりたいです。

あの時死ななくてよかった。今こうして考えることもできる、人生は生きるに値するとも思える。だからこそ、今言いたい。一所懸命に生きる前に、死なないでくださいと。

冬過ぎて

「人はいさ、心も知らず、故郷は。花ぞむかしの、香に匂ひける。」

<百人一首>より

窓の外は小夜時雨、薄暗い部屋に一人きり。「今年は何年目かな」と私は自分に問う。七年前の今日、お爺さんは病気で天国へのバスに乗った。手元にある写真を見つめて、目がついに濡れた。

幼い頃の私は祖父祖母と一緒に住んでいました。それはあまりにも田舎な町で、あるのは清らかな水、果てしない野原と澄み渡るほどの青空だけでした。ごく自然に育てられた私は冬が好きになった。寒い冬になると田圃の仕事も減って、お爺さんは私に漢字の書き方、筆の持ち方、竹笛とかいろいろな事を教えてくれました。お爺さんは小説家でした。私は悪戯っ子で、いつもお爺さんの鉛筆や紙などを隠して、彼の焦っている姿を見ながら笑っていた。今でも覚えている、お爺さんはいつも言っていた「ほれ、まだ返せんか、お爺さん本気に怒るぞ！」でも、やはり一度も怒らなかった。暖かい手と大きいな背中、それと誰よりも真剣な目つき、そんな爺さんを見て私も知らず知らずのうちに変わり始めた、気づくと、作家とゆう夢の種は小さな桜木になった。

幾つかの月日を過ぎ、小学生になった私は引っ越して、両親と一緒に騒がしい都会生活を暮らし始めました。どうやら土の中で育ったせい、皆がどうしても近寄らなかつた。とうとう私は一人の寂しさを耐えずに実家に戻って来た。「なあ、何で皆が友達にしてくれんの、どうしてなの？」私は泣きながら話した。「それは大変だったな。でも、人は自由な生き物だよ。他人はどう考えても、君が初めの一步を踏み出さないと、誰も君の事を知らないよ。だから、自分をもっと開けばいい事さ。泣かないで、何が遭っても君はわしの可愛い孫娘じゃ。」彼は優しい声で慰めてくれました。でもその後、お爺さんは病で突然倒れた。

二年後、ある雪の夜、お爺さんは永遠の眠りについた。急いで実家に戻ったら驚きました、部屋は全て空いて、漢方薬の匂いが立ち込めていた。お爺さんはもうここにはいない。私は始めて悔しい気持ちを味わった、苦くて、苦くて、心が割れそうな気がした。それ以来、私は仕方なくほど冬が嫌いだった。

現世に戻り、涼しい風が涙を拭き取る、そろそろ夜明け。小鳥の鳴き声が耳に響いて私は思う、もしお爺さんはまだ聞こえたら、彼にこう言うでしょう。冬過ぎて、川に流るる、梅の花。少し春ある、忘れぬ人に。

先輩の言うことはいつも正しいのか

私は去年、期待に胸を膨らませて、日本に留学しました。1年間女子寮で過ごしながらか、日本人と共に学び、遊び、いろいろな経験をしました。とても有意義な1年間でしたが、ひとつだけ納得がいかなかったことがありました。それは、先輩の言うことにはなんでも従わなければならない、というルールでした。朝昼晩、食事の時には先輩のご飯をよそい、お風呂に入るのは先輩の後、先輩の荷物は後輩の私が持たなければいけないなど、寮に入ったその日から先輩に教え込まれました。

女子寮は四人部屋で、私は一番年下でした。同じ部屋にとてもうるさい先輩がいて、消灯時間が過ぎても誰かと携帯で喋っているの、眠れなくて困っていました。ある日私は、直接先輩に訴えることにしました。こういう問題は他の人を巻き込まないで、二人だけで解決した方がいいと考えたからです。

「先輩、すみませんが、うるさくて夜眠れないので、静かにしてくれませんか。」私がそう言うと、先輩は驚き、みるみるうちに顔つきが変わってきました。「後輩のくせに何を言っているの！あなたの方こそ他の人に迷惑をかけているじゃないの！」と逆ギレされてしまったのです。本当に、びっくりしました。仕方がないので、私は担任の先生に相談に行きました。先生はこうおっしゃいました。「日本では先輩に直接文句を言うてはいけません。そういう時は、先生に言うか、先輩の先輩に言わなければならない。」

悪いことは悪いとどうして言えないのでしょうか。年が上という理由だけで、どうしてそんなに先輩は偉いのでしょうか。日本にいる間、ずっとそのことが疑問でした。カナダに戻ったら、あまりにも上下関係がゆるいので、なんだか気が抜けてしまいました。そしてあの日本での厳しかった先輩と後輩の凜とした雰囲気、懐かしくさえ思えてきたのです。それと同時に、日本人が先輩後輩などの上下関係を重んじるのは、いったい何故なんだろうかと考え始めました。

まず、日本には歴史的に年上の人を敬うという儒教の教えがあります。家でも学校でも、子供の頃からそう教わって育つので、年上が言うことが本当に正しいのかどうかを考える前に、そういうものだと無条件に従うことができるわけです。

次に、年上の人には年下よりも人生経験が多いので、その分いろいろなことを知っています。だから経験から正しい判断をすることができます。集団のリーダーになるのは、経験を積んだ年上の方がふさわしいということになりますから、年上がリーダーに選ばれます。そしてみんながリーダーに従います。

さらに、年上に従うという考えからは、自分が年上の立場なら、尊敬されるにふさわしい人物になろうという前向きな考えが生まれます。逆に自分が年下の立場なら、将来尊敬される人になるにはどうしたらいいかと自分を見つめる時間が生まれます。そうやってそれぞれの立場の人が自分を高めることができるわけです。

寮でいばり散らしていた高校3年生の先輩を思い出していたら、私はあることに気づきました。「あの先輩は、今は高校で一番年上だけど、あと数ヶ月で大学生になったら、一番年下になる。そしたら今度は大学の先輩に従わなければならないんだなあ。」そう思うとその先輩のことを優しい気持ちで見られるようになりました。

二十歳

皆さんが二十歳だったころどんなことがありましたか？まだ二十歳になっていないかたは、いつか来る二十歳がきになりませんか？二十歳と言うのは、社会に、第一歩をふみだすとしであり、じぶんのみちをみつけるとしです。

韓国の作家キムナンドは「つらいからこそ青春だ」と言うタイトルの、にじゅうだいの 若者をたいしょうとした 本でたくさんの関心と共感を得ました。

二十歳とは人生においてとても大切で重要な時間です。私はつい最近にじゅうよんさいをむかえたしんりがくをべんきょうしているがくせいです。私はいままで的人生を毎日意味があるように生きて来ましたが、なかでも二十歳のころのおもいでがいちばん記憶に残っています。

情熱と挑戦精神がいっぱいで、かがやかしいものになると思っていた私の二十歳の一年間はじつは暗いものでした。初めて両親とはなれて、大学という新環境に、たった一人で飛び込みました。ふあんと孤独で私はおしつぶされそうでした。まわりのひとたちは自分たちの青春をおうかするためになくことばかりしているように見え、うらやましくおもい始めました。そして、あいまいな未来が心配で不規則な生活をした結果うつびょうで苦しみました。毎日が怖くて夢を諦めようとした時に、私をささえてくれたのは、寮で出会った4人の友人でした。時には意見が衝突して、腹が立つ時もありましたが、彼らが笑顔でてをさしのべてくれたおかげで、今、私がここにいられるのではないかとと思っています。

たとえばある日、何日も何も食わずに死体のようにベッドの上で転がっていた 私にその友人たちからメールが一通届きました。「何食べたい?」。私はじょうだんで 「ラーメン」と返信しました。当時、寮の中では湯を沸かすこともできなかつたし、料理道具もなかつたため ラーメンがとても恋しかったのです。その時、どこかからポータブルバーナーと小さい鍋を持って来て、寮のトイレでラーメン10個を作ってくれた友達の姿を思い出すと今でも笑顔がでできます。あの日、トイレで小さいなべでつくったラーメンは 塩辛かったです。でも、あのラーメンを食べたとき、心がじいんとしました。

私は彼らに「ありがとう」を言えないままはなればなれになってしまいました。彼らはいまでも私のところの中において、つらいことやくるしいことがあるたびに 勇気をあたえてくれます。彼らのおかげでここに居られるところから思います。だから、この場を借りて、3年間一緒にすごした友人たちに、本当にありがとうと、大学で彼らと出会えたのは幸運だったと伝えたいです。そして、私も、彼らのように私の大切な人たち、また未来を怖がっている 二十歳の人たちに勇気をあたえられる人になりたいです。私が傘になり、仲間や後輩を悲しみから守れる、そんなカッコいい先輩になりたいです。それはながい 道ですが、私の友人がしてくれたようにすばらしいことができるよう、せいいっぱいがんばります。皆様、どうぞ 応援よろしく おねがいします。 ごせいちょう ありがとうございます。

パチリス

私は韓国人ですが、韓国語をあまり話せません。これはちょっとはずかしいです。時々、クラスメイトが「あなたは韓国人ですよ？この言葉を韓国語でどうやって言いますか。」と聞きます。私はこたえられない時、とてもはずかしいです。だから、UBCで日本語のクラスより、韓国語のクラスをとったほうがいいと思います。でも日本語は韓国語より楽しいです。このままでは、私の日本語が韓国語より上手になります。でも、日本語もしょらい全然やくにたたないかもしれません。あきらめたほうがいいですか。たくさんやみました。

そして、悩みながら、たまたま、YOUTUBEでポケモンゲーム世界チャンピオンシップを見ました。このトーナメントはとても大きくて有名で、世界の一番強いポケモンゲームのせんしゅが来て、たたかいます。ポケモンはたくさんありますが、たいてい、せんしゅたちは強いポケモンしか使いません。かんきやくもそのポケモンを使わないと勝てないと思いました。

でも、ある人が思い切ってあるポケモンを使いました。このポケモンは別にかっこよくなくて、強くなかったです。むしろ、可愛くて、ピカチュミみたいなポケモンでした。このポケモンは誰か分かりますか。私のスピーチのタイトルを見たら、わかりますね。そう、名前はパチリスです。パチリスはとても小さいりすみたいなポケモンです。大きいドラゴンやこわい鳥みたいなポケモンたちの中で、この小さいりすもたたかっていました。さいしょはかんきやくは信じられませんでした。このトーナメントでパチリスを使うのはとんでもないことでした。

でも、この人はパチリスだけの見えなかった力を見つけて、使えました。そのかくれた力のために、ほかの強いポケモンがパチリスをこわいと思ったのです。パチリスが出たら、相手はパニックになりました。かんきやくはパチリスが出た時、おうえんをはじめました！誰がよわくて、だめなパチリスがこんなにかのうせいと強さがあると思いましたか。だから、パチリスのおかげで、この人は2014年世界チャンピオンになりました！

私はこのトーナメントを見て、とてもかんどうしました。わたしのじょうきょうと同じだと思いました。私の日本語は私のパチリスだと思います。世界チャンピオンはパチリスがかてると信じて、あきらめませんでした。私はポケモン世界チャンピオンにならないかもしれませんが、私も日本語をあきらめないで、もっと勉強します。もうなやみません。私の日本語はきっとしょうらいやくにたつと信じます。それにパチリスがある人は私だけじゃなくて、みなさんも自分の何か心配しているパチリスがあると思います。でも、あきらめないでください。頑張って、自分のパチリスをとっくんして、私たちそれぞれのパチリスを一番にしましょう！

サードカルチャーキッズ

こんにちは。私の名前はジョアンナコンデです。私のしゅっしんは・・・さあ、それはかんたんな質問のほうですが、私にとってそれはとてもむずかしい質問です。このグローバリゼーション世代にそだっている子供にはこの質問はいよいよむずかしくなっています。「しゅっしんはどちらですか」にはいろいろな意味があります。どこのパスポートを持っているかや、どこで生まれたか、うちでどんな料理を食べているかなどです。その質問をされたとき、私は私の人生について話さなければいけません。

私みたいな人は世界にたくさんいます。バンクーバーにもたくさんいると思います。私たちは「サードカルチャーキッズ」という世代です。サードカルチャーキッズは自分の文化の中でそだたなかった子供のことで、私はメキシコに生まれました。そして父もメキシコ人ですが、母はマレー人です。二さいの時日本にひっこして九さいの時にバンクーバーにひっこして、また十二さいの時ドバイにひっこしました。さいごに高校を卒業してもう一度バンクーバーにひっこしました。それから家族がまだドバイに住んでいますから毎年半年ずつドバイとバンクーバーに住んでいます。だからしゅっしんを聞かれたら、こたえられません。

世界中にひっこしすることにはたくさんよいことがあります。まず、世界中のいろいろな人に会えるし、たくさん友だちができるし、すごく楽しくておもしろいです。いろいろな文化をならえますから多くのけいけんをつむことができます。それが自分を作ります。世界中の人々はみんなすごちがいますが、同時にすごおなじでもあると思うようになります。そしてもちろん、いろいろな国の料理を食べてみることはいつもおもしろいです。文化をシェアできることはとてもワクワクします。

でも、もちろんよくないこともあります。時々サードカルチャーキッズはすごいさびしい気持ちを持っています。時々あなたは自分の国で外国人になります。私がメキシコに行った時いつもしんせきが「あっアメリカじんみたいにスペインゴを話しますね」と言います。それからいつも日本をほうもんする時、「帰る」と言いません。そこに住んでいたのに、私は外国人です。世界中のどこでも家になりますけど、もういっぼうで世界中どこにも家がありません。

カルチャーショックも時々むずかしいです。私のカナダの小学校のはじめの日に母がおべんとうにおにぎりを作ってくれました。昼ご飯におべんとうを開けた時前の女の子がふりかえって「なにを食べているの？くさ～い！！」と言いました。ちいさかったからあまり気にしないで食べましたが、時々他の人とちがうし、とおくかんじます。

でも、バンクーバーはとくべつなところですよ。さがしたらどこにでもいろいろな文化がみつかります。バンクーバーはひじょうにしんぼてきなところですよ。グローバリゼーションのおかげでこの国はいろいろな人をうけいれました。私たちのトルドーしゅしょうがさいきん言ったように、「たようせいは、はつめいのエンジンです。」バンクーバーは世界にたようせいのかんぺきなれいを作ってくれます。

ある国でグローバリゼーションは自分の文化をけすと言う意味があるかもしれませんが、バンクーバーは色々な文化が一つの国にそんざいできることを見せてくれます。サードカルチャーキッズも一人の中で色々な文化がそんざいできることを見せてくれます。私はここで外国人だという気持ちを持ったことがありません。ここは本当に家みたいです。バンクーバーのおかげで私のうちだとかんじられます。だからバンクーバーありがとう。

五円とご縁

アメリカのある最近の研究によると日本語は英語を話す人にとって一番習いにくい外国語だそうです。それなのに、なぜ私が日本語の勉強を続けたいのか、これから、それをご説明します。

このネックレスが見えますか。このネックレスにはひみつがあります。そのひみつを聞いてください。私は子供の頃、「ワン・ピース」や「コナン」というアニメを見て、日本にきょうみを持つようになりました。その時から、高校を卒業してから日本語を勉強してみたいと思い始めました。それと同時に私の将来について、どうするかを決めなければいけませんでしたが、でも、日本語が一番難しい外国語だということが分かって、こわいと思いました。

2013年におじいちゃんが亡くなって、私はすごく悲しかったです。しかし、数日後、おばあちゃんが私にこの五円だまを見せてくれて、おじいちゃんの夢を話してくれました。おじいちゃんは医者で、また若い頃、仕事のために日本へ行って、この五円だまをだれかにもらって、その時から、お守りに持っていたそうです。五円だまには昭和四十年とほられています。ちょうど50年前のものです。これはおじいちゃんのたからものでした。そして、おばあちゃんは私の目を見ながら、こう言いました。

「おじいちゃんは日本が大好きで、もう一度行きたいと言っていたんだけど、その夢はかなわなかったの。クリスはまだ日本語を習って、日本へ行く気持ちがあるなら、そのたからものを日本へ持って行ってほしい。」

そして、おじいちゃんの一つの大きなこうかいは全然日本語を習わなかったことだったそうです。だから、その時、日本語を勉強して、必ず日本へ行こうと決めました。日本語を習うことは私だけの夢ではなかったんです。おじいちゃんの夢でもあったわけです。翌朝、この五円だまを使って、さっそくこのネックレスを作りました。日本のお金はあながあるから、ネックレスを作るには本当に便利ですね。

そして、私は高校を卒業し、日本語を勉強するためにブリティッシュコロムビア大学に進学しました。バンクーバーに着いて初めて会った人は、まさという日本人でした。その時、15分しかしゃべりませんでしたが、その後、まさとに何回か会って、いい友達になることができました。そして、ある日、まさとは私にご縁の意味を教えてくださいました。まさとは「ごえんには漢字が二つある。五円とご縁。二つの漢字の意味は全然違うんだよ。」と教えてくれたんです。その前は、五円にお金以外の違った意味があることを知りませんでした。まさとは「五円では何も買えないよね。でも、ご縁は、お守りのようなラッキーな意味なんだよ。持っていたら、確かにいい人にたくさん会えるよ。」と説明してくれました。そのご縁のおかげでまさとに何回も会えて、親友になることができ、今ここで日本語を勉強しているのでしょ。

日本語の勉強はとても難しいです。しかし、ご縁のおかげで、続けることは、ふかのうではないと思いました。毎日、ネックレスをつけて、おじいちゃんのことを考えながら、あきらめないうで、日本語がぺらぺらになれるようにがんばります。このネックレスをしているとおじいちゃんが見守ってくれているようで、きつとうまく行くような気がします。いつか日本へ行って、おじいちゃんが行きたかったところ、見たかったものをあじわい、天国にいるおじいちゃんが私と一しょに日本を楽しんでくれたら、いいなと思います。

みなさん、聞いてくださってありがとうございました。

宇宙人の専攻？

皆さん、初めまして。アルフレッドと申します。私の専攻は言語学です。「言語学」という専攻をよく知らない人がたくさんいて、その人たちに私がどんな勉強をしているのか何回も説明するんですが、それでも分からないようで、私の専攻は宇宙人のようにとても不思議だと思われるようです。しかし、言語学は私たちにいろいろな面白いことを教えてくれる学問なので、皆さんにもっと知っていただきたいと思います。

皆さんは「言語学」という言葉を聞くと、多分外国語を勉強することを想像するかもしれませんね。私は友達に「私の専攻は言語学だ」というと、「だったら全世界の色々な言葉が話せるんでしょう?!」とか「何ヶ国語を話せる?」とよく聞かれます。しかし、必ずしも言語学は色々な外国語を勉強することだけではありません。私はまだ4つの言語しか話せません。韓国語、英語、中国語と日本語です。私はブリティッシュ・コロンビア大学に入る前に、大学で何を勉強したらいいか分かりませんでした。でも、外国語を勉強することに興味があったので、この専攻を選ぶことにしました。そのときは私も言語学は外国語を勉強することだと思っていたわけです。思いがけず、言語学というのは、外国語を勉強することだけではなく、いろいろな言語の音とか文法とか意味を分析する学問だと分かりました。UBC に入って初めてクラスを取った時、外国語を勉強するわけではないと分かって、少し失恋したような気持ちになりましたが、言語学には、いろいろ楽しそうな研究があることが少しずつ分かって言語学に興味を持つようになりました。言語学のクラスでは、ぜんぜん知らない言葉を見て、その言語を分析します。

言語学の一部である、音声学では、音をコンピューターで分析したり、声道の解剖学や生理学を習ったり、音を分析したりします。音韻学は、言語の音のパターンを分析します。形態論では、言語の文法を分析します。文法のパターンを分析して、シンタクスツリーのようなパターンを描きます。こういう話をする、みんなだいたい、難しいから、いやな顔をしますが、実はとてもおもしろいんですよ。

興味深いことに人の言語の習い方も分析します。日本語の勉強を始めた頃、もちろん、「おはようございます」、「ありがとうございます」とか「お元気ですか」のような基礎の会話を習いましたが、日本語と言語学を勉強するほどすれば、文法や音のパターンの使い方がよく分かるようになったと思います。例えば、「ます」フォームや「って」フォームや敬語や助詞の使い方を習う前に、言語学で言語の音や文法の分析の仕方を勉強していたので、大変役に立ちました。ですから日本語の授業で新しい文法のルールを習う時、どんな言語学の知識が役に立つか考えるのがすごく楽しいです。

最後に、一つ皆さんに、語学が上達する秘密を教えます。子供のように言葉に接することです。皆さんは矛盾しているように聞こえるかもしれませんが、実は、言語学の言語獲得では、語学を上達させたければ、子供のように無邪気に習うほうが良いと思います。心理学の研究によると、子供の語学力の上達は大人のより何倍も早いです。文法にあまりこだわらずに、日本語の勉強が難しいとイライラせずに、とにかく習った表現をどんどん使って、遊んでみることです。もちろん言語学と一緒に習えば・・・私のように、こんなに上手に日本語が話せるようになります!!!

私のスピーチを聞いてくださって、どうもありがとうございました。

日本人ってどんな人？

私は、カナダで生まれたカナダ人です。でも職場でよく「出身はどこですか。」と聞かれます。「カナダです。」というと、「そうじゃなくて、生まれたところはどこ？」と言われます。そういう人は、私が「生まれは香港です。」と言ったら安心するのかもしれませんが。でもそうじゃないから「私はカナダ生まれです。」と言います。「なぜカナダにいるの？」と言われた時は、ショックでした。私はカナダにいてはいけないのでしょうか。

にたようなことを考えさせられる出来事が日本でもありました。それは、2015年のミスユニバース・ジャパンに選ばれた宮本エリアナさんのことです。ごぞんじの方もいらっしゃるかもしれませんが。エリアナさんが選ばれたあと、いろいろな批判が聞かれました。それは、宮本さんが、日本でよく言われる「ハーフ」で、お母さんは日本人で、お父さんはアフリカ系のアメリカ人だったからです。宮本さんは背が高くスタイルがいいです。そして肌が浅黒いです。批判している人達は、宮本さんが本当の日本人じゃないから、日本の代表になるのはおかしいと言っていたのです。でも宮本さんの戸籍は日本人で、日本語しか話せません。

カナダでは、ふつうのことですが、日本では、ハーフというのは特別な感じで見られているようです。歌手、モデル、タレントなどで活躍している、アンジェラアキさんや、ベッキーさん、ローラさんなどはその例です。日本語が母国語なのにペラペラ話せてすごい、と思われたり、見た目の美しさでもてはやされても、ハーフはハーフ。日本人とは扱われていないようです。ハーフの人は学校でいじめを受けたりしているとも聞きます。

では、日本人って、どんな人なのでしょう。私にも答えはわかりません。でも宮本さんが日本代表になることを批判するのは、多文化のカナダに生まれたカナダ人の私には、少しちがう気がします。日本でも2013年の統計では30組に1組の割合で国際結婚があったそうです。宮本さんのような子供たちがこれからも増えていくでしょう。そういう人たちが胸を張って「私は日本人です」と言える社会になるといいなあと思います。皆さんはどう考えますか。

ガラパゴスの景色は美しい

皆様は「ガラパゴス化」という言葉を聞いたことはありますか。「ガラパゴス化」とはガラパゴス諸島の生態が世界に切り離されて独自の進化をしたように、技術が一つの方向に発展して、他の市場では通用しなくなる現象を示すのです。と言っても私もつい最近ビジネス日本語クラスのディスカッションにでた「グローバル化が日本経済成長の鍵になる」と指摘した日本経済新聞の記事から学びましたが。私はそれをテーマにして書きたくなかったのはその時グローバル化とガラパゴス化どちらがいいかという質問に、私個人はどうも「グローバル化」した日本製品の方がいいとは思えなかったからです。

もし皆様の中に私と同様に香港出身の方がいらしゃったら多分オクトパスカードのことはご存知でしょう。実はそのタップしたらショッピングができ、地下鉄にも乗れる技術はソニーが開発して提供したものです。ただしその発展しすぎた技術は人口が低い都市に採用されるための調整ができず、2000年代になっても沢山の記事にそれはガラパゴス化したものと指摘される状況に至りました。当時私はそれが世界初めて地域単位で普及した非接触電子マネーカードとも知らず、ただバンクーバーに来た頃はその技術を使わない理由に疑問を感じました。例え結果的に日本が開発した技術そのものが各地で採用されなくても、バンクーバーのコンパスのようなカードは日本が先導者になってくれたからこそ今は世界的に普及できたと思います。

ガラパゴス化の話になると、その概念の同義語と言っても過言ではないガラ携帯の例は欠かせません。私と兄は幼い頃からずっと日本文化が好きで、高校の時兄は日本の携帯に憧れ、ソフトバンク製モデル 934SH の携帯を購入しました。他の人がどんどん 아이폰 を使い始めた時代だったというのに、そのほとんどの機能が香港では使えなくてもソフトバンクの携帯が私は素直に「凄い、カッコいい」と思いました。スマートフォンがあるのに、どうしてわざわざ折りたたみ式携帯の背面にあるモノクロームな液晶画面にこだわるのでしょうか。それは天気チェックをして、その画面に写された太陽の絵柄が可愛かったからです。今のアップルもソニーもサムソンも皆大体同じように作られているスマートフォンの市場に比べて、特徴的なガラ携の方が購買欲をそそると断言できます。

そのような私と日本の「ガラパゴス」の出会いを思い出しつつこのトピックを調べるなか私は一つのこと気が付きました。様々な視点から日本の「ガラパゴス」を指摘する記事が簡単に見つけられますが、最後は大体調整もせず外国の企業と商売しようとしているのが根本的な問題になっています。各分野で日本の技術がまだ世界の先端を走れるのは事実だとは言え、商談に限っては日本は勝手に相手にとって何がいいのかを決めつけるのをやめるべきです。ただ走ればいい鉄道が欲しいインドに速さと故障がでないことが売りの新幹線を、開発途上国に世界最大都市東京の人口密度を負担できると誇るシステムをなど、どれもが他所から見れば日本が本気で勝つ可能性があるのかを疑わせるシチュエーションです。つまり今一度申し上げたいのは日本の企業はその「ガラパゴス」を抹殺する前に、取引段階で最善を尽くしたかどうか考え直すべきではないかということです。なにせ、私はこれからも初めてウォシュレットを使った時ココロと体に刻んだ痛みのようにくだらないようですが、一生大事にできる日本ならではの体験を楽しみにしていますから。

「ノー」と言える外国人

今年の一月初旬、日本中に衝撃が走りました。人気アイドルグループ SMAP の解散危機という報道が大騒ぎとなり、SMAP メンバー全員が生放送で謝罪しました。ファンとして私も見ましたが、彼らがまるで公開処刑のようで、どうして謝罪しているのか全然わからなかったです。見れば誰でも事務所が強制しているのではないかと思えます。SMAP といえば日本を代表する人気グループですが、そのグループでも自由に自分の意見を言えないという日本のブラック企業問題の深刻さが浮上しました。

ブラック企業とは、従業員に対して劣悪な環境で長時間での労働を押し付ける企業です。特に、新卒を大量に採用し、そして使い潰して自社の利益を上げる事だけを考えています。ブラック企業に入ってしまった社員は大抵その企業を訴えず、自分が転職するしかありません。そしてブラック企業はまた新しい人を採用し、このような悪循環を続けてしまいます。私は日本で研修する以前では、ブラック企業という言葉さえ知りませんでした。でも日本でよく「ブラック企業に注意なさい」と忠告されました。日本のネットニュースでよく使われていますが、英語に当たる言葉はあまり聞きません。カナダではブラック企業は数から言えば日本より明らかに少ないです。カナダは労働者の人権を守る為、厳しい法律があります。

しかし実はブラック企業現象は世界のどこでも発生しているのです。例えば、アメリカのウォールストリートで働いている社員は毎週 80 時間以上働くそうです。そして、日本の会社と同様に北米の IT 会社も残業が当たり前になっています。その影響で肉体的にも精神的にも支障をきたし、その典型として鬱病などがあります。更に、日本では北米と違い離職したら他の職場での再就職がとても難しいので、ブラック企業への転職を繰り返してしまうことがあります。まるで抜け出せない泥沼のようなものと言えます。

そこで、私がまず企業側に求めたい事の一つは社員をサポートする人事部のようなシステムを作り、実際に機能させることです。もし社員に待遇の不満があった時に、他の社員や上司と問題を話し合い、解決策を探ることも必要です。このようなシステムは社員の権利の保障にもなります。

しかし、会社側だけに変化を期待するのは無理だと思います。今、増加している外国からの人材こそが、自分で変化を起こすしかないと思います。もし私がブラック企業に入社してしまったなら、私は外国人として自分の価値観を日本の職場に与えて、ふつう日本人には言いにくい事も伝えます。できればこの会社の問題点や違法性を考え、行政にも相談します。我々が「被害者」から「行動主義者」に変化すれば、会社のシステムを改善できると思います。

日本はグローバル社会を目指していると言われていています。私のような日本で就職したい外国人をサポートすることができれば、ブラック企業の問題も解決できるのではないのでしょうか。一方、外国人材として日本で働く私たちも、社会経験やコンプライアンスに関する知識を身に付け、実際に自己権利擁護の立場からあえてその会社のシステムを変える勇気を持つことが大事です。外国人材だからこそ、自分の意見を積極的に発言することによって、日本社会に貢献できると信じます。

我々一人一人の努力で、公正な就労環境や明るい世の中を作り上げましょう。

古き美德

みなさんは一度雇われたら、会社と一緒に死ねますか。日本では昔、同じ会社で一生働き、その会社のために息をしていくという、伝統的な美德がありました。それが忠誠心と呼ばれていました。しかし、今時一生同じ会社で働くことはほぼ不可能に近いです。ならば、忠誠心はもうこの世に存在していないのでしょうか。

みなさん、「半澤直樹」という大変人気だったドラマをご存知ですか。その中で発生した事件では、半澤は上司に騙され、融資ミス の責任を無理矢理に負わされました。半澤の部下たちは連帯責任を負うリスクを知らながらも、彼を裏切らず、いつでもそばについていました。単純な利益と損失の面から考えると、半澤を続けてサポートすることは無謀な判断でしたが、普段から半澤によく扱われていた部下たちは迷いなく、尊敬する上司に忠誠心を捧げました。部下が支えてくれたおかげで、半澤は自ら汚名返上ができたのです。このドラマを見たとき、私は儒教の孔子の教えを思い出しました。組織の上下関係について尋ねられた時、孔子は「主君は礼によって臣下を使い、臣下は主君に忠誠心をもって仕えることだ」と答えました。礼に応じて忠誠心がついてくる重要さを示した一言です。

孔子によりますと、「忠」という漢字は「心」の上に「中」と書いて、真心ということです。「忠誠」の「誠」は、嘘偽りがなくことです。二つの漢字が揃って、相手に対して嘘偽りなく尽くそうという気持ちになります。つまり、真の忠誠は、人や、組織や、外在の標準などに向かうものではなく、心に沿う道徳判断のことです。半澤直樹の部下たちは本心に従って、彼の味方となりました。ここで、忠誠心とは同じ会社で長く働くことなのでしょうか。グーグルや、フェイスブックのような大会社を検討しても、それほど長年組織で働いている人はいません。でも、従業員は会社にいる間、自身の能力を百パーセント出しきっているおかげで、会社が今のよう な大企業になっているのだと考えられます。

また、忠誠心は職場だけにおけるものではなく、私たちの日常生活でもよく見られるのです。例えば、みなさんは、親友に100%の忠誠を捧げていますか。私は、まごころで他人を取り扱うことが、友人関係をより堅く築くために最も重要なのだと考えています。最近、ある友達に遭った出来事ですが、彼女は仲がいい友達と二人揃って、一人の男の子を好きになってしまいました。二人はお互いその男の子に対する気持ちを察してはいたものの、確認できていないまま、その男の子は私の友達に好意を示しました。その挙句、失恋した女の子は「なんで今まで教えてくれなかったの？」という理由で、私の友達と絶交しました。私の友達は今となっても、好きな人が彼氏になってくれたという幸福に、友達ひとり を無くしたという影がついています。お互い嘘偽りなく、忠誠心を持ちながら対面していたら、このような残念な結果にはならなかったのではないのでしょうか。

今一度申し上げたいと思いますが、忠誠心は職場だけではなく、すべての良い人間関係の源です。まごころで物事に対応すれば、かならず支えてくれる人が増えるでしょう。本日私の発表を聞いて、私が申し上げた古き美德、忠誠心の意味をご理解いただけたら幸いです。そして、まだ百パーセント出さずに、仕事や人間関係をダラダラ過ごそうとしている方には、この質問を残したいと思います。「あなたは自分自身に忠誠心がありますか。それとも、息をしているだけですか。」

ご清聴ありがとうございました。

剣道への感謝一再出発

僕は6年前、今日と同じ壇上で自分の夢と目標をスピーチ致しました。

題名は「剣道への感謝」です。8歳から剣道を始め、カナダ代表として世界剣道選手権大会に出場するという目標と剣道に出会えたことで、自分がいかに成長できたかという感謝の気持ちを皆さんにお話し致しました。今日は、その後の僕がどうなったかを聞いて頂きたいと思います。

スピーチをした当時の僕は17歳、高校の三年生でしたが、目標に向かって日々剣道の練習に明け暮れる僕に、進学という人生の現実的な問題が目の前に立塞がりました。いかに剣道が好きでも、それだけで生きていくことはできないので、まずは人生の基盤を固めるために UBC に進学しました。もともとアジアの文化や言語に興味があり、それを勉強したいと考えていたのですが、就職が有利だという判断で経済学を専攻しました。でも、この選択はどうやら間違っていたようで、入学した当初からどれだけ勉強しても成績がなかなか伸びず、とても悩みました。やっぱり自分に合っていなかったのではないか、この選択は間違っていたのではないかという後悔とストレスで押しつぶされるような毎日を過ごしました。

そんな時も自分を救ってくれたのはやはり剣道でした。練習をしている間は嫌なことは忘れることが出来、入学と同時に入った UBC 剣道クラブの仲間や先輩は、剣道に関係なく、勉強でも精神面でも色々サポートしてくれました。

「全員一緒だよ」、「手探りで色々やってみればいいよ。自分らしくね」という仲間のアドバイスがどれだけ心に響いたことか、涙が出るほどにうれしかったのを今でも思い出します。

そんな中、二年生に上がった僕は剣道クラブのキャプテンを任されることになりました。

この仲間たちと一緒に頑張っていきたい、嫌なことから逃げるために剣道をしている訳ではない、と、三年生に上がった折に思い切って専攻も変え、いろんな意味で一から出直すことにしました。やりたいことを大好きな仲間とできる喜びは何事にも代えがたく、成績も一気にあがりました。クラブの中で一番の高段者である自分は、微力ながら指導する立場となり、皆が段々と上手くなって行く姿を見るのがとてもうれしかったです。さらに、チームワークにも磨きがかかり、キャプテン在任中の三年間に、年に一度行われる大学剣道選手権でも、三度の団体優勝をすることが出来、同様に個人優勝した自分のことよりも何より、うれしく誇らしく思いました。

そして4年生の時に、かねてからの希望通り、大学剣道日本一の筑波大学に交換留学生として行くことになりました。もちろん、交換留学ですから目的は国際学の勉強ですが、自分の気持ちの中では、やはりメインは剣道の練習でした。

大学日本一の剣道部での練習は、予想をはるかに超える厳しさでした。最初の2週間で6キロも痩せ、時には監督から消えろと罵倒され、壁に突き飛ばされるようなことも度々ありました。でも、必死になんとか付いて行こうとする僕を、最初はお客さん扱いしていた監督や部員の皆も、やがて受け入れ認めてくれるようになりました。

仲間と打ち解けて苦楽を共にするうちに、カナダでは学ぶことのできない上下関係の大切さや

日本の文化や武士道に代表される日本人の精神の奥深さを知ることが出来、本当に良い経験をすることが出来ました。カナダでも日本でも、自分は本当に良い仲間に出会って、なんて幸せなのだろうと実感することが出来ました。

今までの人生、自分が頑張ればどんな困難でもなんとかなると思っていましたが、その考えは傲慢であって、自分は色々な人たちとの関わりの中で助けられ生きているのだということに、心底気づかされました。また、そう思えるようになったことが、自分の何よりの成長だと言えると思います。

その結果、僕はカナダ代表選手として、三年に一度行われる世界剣道選手権大会に二回連続出場することが出来、夢を叶えることが出来ました。

次は、日本代表を破って、僕に剣道を教え支えてくれた先生や剣道仲間に恩返しすることを目標としたいと思います。

最後に、この6年間の出来事の一つ一つが今の僕を作りあげてくれたのだと思います。

僕は今年の5月に大学を卒業します。今、これまでの出来事を振り返り、色々な意味で自分も仲間も、とても誇らしく思います。

今後も、その気持ちや努力を糧に、僕はまた次の目標に向けて新たに出発したいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

大丈夫?大丈夫だよ

こんにちは、現在UBCで修士課程に在学中のシムジェヒョンです。私は図書館と研究室にこもって、論文を読んだり、パソコンに向かう毎日です。こうやってたくさんの人と出会ったり、舞台上に立って人前で話したりするのに慣れていなくて、今すごく緊張しています。皆さんはどうですか?昨日夜遅くまで台本を覚えたり、年に一度のスピーチ大会の準備のために忙しかったのでありませんか。早く終わって家帰りたいなと思ったりしていませんか。私は今日、そういう皆さんを含め、日常に疲れている人たちに伝えたいことをこの場でお話したいと思います。

皆さんは最近どういう悩みを持っていますか。学生の場合、成績や人間関係、金銭問題、将来への不安などがあると思います。私もそうです。しかし、そういう悩み事を人に話したりすることはできません。心は疲れていても友達と会った時は、頑張って笑っていつも明るく見せようとしています。ここにいらっしやる多くの方もそういう経験を持っていると思います。留学生の方は特に親に電話では「大丈夫だよ、大学生活楽しんでいるよ」と言って夜布団の中で涙を流したりしていませんか?そういう時は、自分に一度聞いてみてください?自分大丈夫?疲れてない?

バンクーバーに来る前に中国の南部にあるタンランという小さな街に5ヶ月間住んだことがあります。そこは私が育った韓国のソウルや学生生活を送った日本の東京とは違って、夜になると星が綺麗に見えるところでした。そこで星を見ながら、ふと「俺ってここ数年間空を見る心の余裕すらなかったな」と思いました。最近ではベンチャーで成功した人は「みんな頑張って起業するべきだ」、名門大学に合格した人は「誰もが死ぬ気で勉強するべきだ」などと言います。私もそう言われてきましたし、そう思い込んできました。常に高い目標を設定し、それに近づくことで自分を評価してきました。

ところが、中国のタンランでインターンシップをやっている間、それまでのしがらみから解放されて、心にゆとりを持てるようになりました。その時に、私はそうやって頑張るだけじゃなくて、疲れた時は一度立ち止まって、振り返る時間を持つことが必要だと思いました。皆さんも一度立ち止まって、自分を振り返ってみてください。「成績が悪い、お金がない」と自分を否定していませんか。そういう人には私はこう言ってあげたいです。「ここまでよく頑張ってきたね。」

とある大学の先生の話によると、人間の心は神経伝達物質のようなもので身体中に心があるそうです。それで、こうやって自分を撫でてあげると、自分を抱いてあげるのと同じ効果が得られるそうです。疲れている自分を慰めながら、大丈夫?と聞いてみるのはどうでしょうか。皆さんもこうやって撫でてみてください。皆さん疲れていませんか。大丈夫ですか。

これで発表を終わらせたいと思います。ありがとうございました。

何も忘れていません

毎日世界中の人々が同じことをしています。朝起きて仕事に行く。家に帰って夕食を食べる。テレビを見て寝ます。2011年3月11日金曜日、日本人はいつもと同じような金曜日を過ごしていました。誰もその金曜日が日本の歴史の中で最も恐ろしい日になることなど予想しませんでした。午後2時46分、東北地方太平洋沖地震は起こりました。全世界はこの災害にショックを受けました。被害は地震だけに終わりませんでした。地震により巨大な津波が起き、東北地方の大部分だけでなく、北海道や関東の一部にも被害は及びました。最悪の事態はここからで、津波によって発生した福島第一原子力発電所の損傷は、核メルトダウンを引き起こし、結果として4機のうちの3機の原子炉が爆発しました。これは、1986年のチェルノブイリ事故以来最大の惨事であると考えられています。2016年、今年、福島第一原子力発電所事故以来5年目、そして、チェルノブイリ原子力発電所事故以来30年目の年となります。

ここで私の自己紹介をさせてください。私の名前はオルガです。ウクライナの小さな町コロステンで生まれました。調査によると、チェルノブイリの工場から500キロ範囲内が汚染されていると言われており、私の町は200キロ離れたところで、汚染範囲に位置します。私は10日9月1990年に生まれました。「チェルノブイリ後に生まれた子」だということを示した政府の公式文書を持っています。それを聞いて、皆さまは尋ねるかもしれません。その公式文書には何の意味があるのかと？例えば、私が通っていた高校では、健康的なランチや、新鮮な果物やデザートは全て政府による補助を無料で受けることができました。

そのような状況で育った私の健康状態に関してですが、とても健康です。そして幸せです。ハーフマラソンをしたり、夏に友人とハイキングを楽しんだりします。今日、私がこの部屋にいるすべての日本人の人へ伝えたいのは、過去5年間に経験している痛みはあなた一人だけではないということです。私もすべての痛みを感じています。福島第一原子力発電所事故の結果を受け入れることは非常に困難だと思いますが、私はすべての日本人が強くあり、困難を克服されることを心の底から信じています。いまから幸せな将来のために一緒に頑張りましょう。